

社会科における一単位時間の教師の働きかけのポイント

～学ぶ意欲を高め、深い学びにつながる授業を目指して～

東濃教育事務所

学習課題の設定までの働きかけの具体例

- 学習課題の設定につながる具体的な事実から、疑問が生まれる社会的事象（資料）を提示する。

事象間の“ズレ”から「なぜ」「どうして」の疑問を生み出す働きかけの例

C：「ええっ？」「あれ？」（驚きや疑問の反応）

T：『「ええっ？」と言ったのはなぜ？』『「ええっ？」と言った内容を教えて。』

（学習課題につながる驚きや疑問の内容を明確にさせる）

C：「〇〇だから、なぜなのかなと思いました。」（驚きや疑問の内容の明確化）

T：「■■さんは〇〇と言ったけれど、みなさんはどう思いますか？」（驚きや疑問の内容を共有させる）



事象に隠れている内容を追究する「どのような」の疑問を生み出す働きかけの例

T：「この資料からどんなことが分かりますか？」（資料から分かる事実を明確にさせる働きかけ）

C：「資料から〇〇が分かります。」「資料1と資料2の共通点は〇〇です。」

（資料を比較したり、関連付けたりして分かる事実の明確化）

T：「今日は、どんなことを解決するのかな？」（本時の学習課題を明確にさせる）



- 児童生徒から表出された疑問を学習課題として具体的な言葉で示す。

学習課題の解決に向けた働きかけの具体例

- 児童生徒一人一人が学習課題に関わる事実や追究する視点を実践にもつための働きかけを行う。

学習課題の解決に向けて追究する視点や方法を明確にする働きかけの例

T：「今日は何を解決すればよいのかな？」（学習課題の確認と共有させるための働きかけ）

C：「今日は●●について考えればよいと思います。」

T：「では、どうしたら（どんな資料があれば・どんなことを調べれば）今日の課題を解決できそうかな？」（追究の視点や方法を考えさせる）

C：「〇〇があれば解決できそうだ。」「■■があったら解決できるかもしれない。」

（解決の方法の明確化）

深い学びにつながる働きかけの具体例

- 児童生徒一人一人が考えを深めるために、根拠や立場を明確にしたり、差異やつながりを明確にしたりするための働きかけを行う。

児童生徒の思考を焦点化し、特色や意味を考えさせる働きかけの例

C：「資料1から〇〇ということが分かりました。」

T：「〇〇は今日の課題とどう結び付くのかな？」（課題と結び付け、学習課題の解決に向けて話し合いを方向付けたり、焦点化したりする）

T：「□□さんは■■と言ったけれど、◇◇と結び付けたり、◆◆から考えたりするとどんなことが言えますか？」（児童生徒が差異や立場を変えて考えを広げたり、深めたりできるようにする）